

飛騨

白川郷は、飛騨エリアの一部ですが、飛騨は岐阜県北部、飛騨山脈の西側に広がり、白川のほか、高山、飛騨、下呂の市町村を含みます。古くから 1871 年まで、この地域は飛騨国と呼ばれ、田舎で、主に木材や金属の産地として知られる、日本の中でも比較的目立たない地域でした。中世の中央集権が衰退した後、数多くの戦国武将家の間で飛騨の争奪戦がなされ、地域のあちこちに彼らは城や拠点を立てました。そんな砦の一つが荻町城で、今は来訪者が荻町の歴史的集落を上から見下ろすことができる展望台になっています。1692 年に優勢な徳川幕府（中央政府）がこの地域を直接治め、高山の町から統治するようになり、高山は今でも最も人口の多い飛騨の中心地です。明治時代（1868 年-1912 年）までには、主な産業だった林業と鉱業に養蚕が加わり、養蚕は 20 世紀に入っても特に白川郷では盛んに行われていました。